



あきたけ病児保育室だより

『あきたけ病児保育室』ってどんなところ？

「お子さんが急に熱を出した。。。」「風邪をひいてしまい保育園や学校に行けない」

「仕事を休めないし、預ける人もいない。。。」そんな時、あきたけ病児保育室は、

あきたけ医院の2階で、病中、病後のお子さんをお預かりする保育室です。お気軽に相談ください。

◎保育時間： 月～金 8：30～17：30 土 8：30～13：00

*対象年齢：概ね生後3ヵ月から小学6年生まで

今回も予防接種の事についてお伝えできればと、思っています。「ヒブ」、「B型肝炎」と同じタイミングで接種することが多い、「肺炎球菌」について書かせてもらいます。

○肺炎球菌○

肺炎球菌は、子どもの細菌性髄膜炎さいきんせいずいまくえんや菌血症きんけつしょうという感染症の原因です。その他にも肺炎、気管支炎、中耳炎などを起こします。病原性が強く細菌性髄膜炎を発症すると、重症化し、てんかんや、精神発達遅延などの後遺症を残すことがあります。「肺炎球菌ワクチン」は、これらの感染症にかかるとを防ぎます。生後2ヶ月から接種できますので、「ヒブ」、「B型肝炎」と一緒に早めに接種をしましょう。

<副反応は、ありますか？>

接種部分が赤く腫れる、発熱などが、起こることもあります。重症化はごく稀です。



○疑問コーナー○

1. 「接種するかどうか、メリット、デメリットを考え、

どう判断したらいいですか？」

A：副反応のことだけでなく、かかった時のことを考えて！

予防接種のメリットには、「かからない。」「重症化しない。」「深刻な後遺症を起こす感染から守ることが出来る。」「本人がかからないことで、周りの大切な人を感染症から守ることが出来る。」などがあります。ですから、「副反応が起きる。」というデメリットだけでなく、「接種しないで感染症にかかってしまったら・・・」という事も考えていくことが大切です。もしもお悩みになる場合は、かかりつけ医に相談するのが一番です。

2. 「病院によって、同時接種の考え方、順番が異なりますが、何が正しいですか？」

A：いろいろな選択肢とってください。

「必要なワクチンを接種して感染症を予防する。」ことが目標です。そのために、いろいろな考えがあっても「正しい」のです。ですから、病院によっても違いがあっても不安になることはありません。また兄弟がいる家庭では、新しいワクチンが出てきたり、制度が変わったり事情が変わることもあるでしょう。ただ、大切にしてもらいたいことは、ワクチンを受けられる年齢になったら忘れず、早めに受けることが大切です。

あきたけ病児保育室

住所：門司区東門司2-4-18

TEL：093-321-0541 または 090-6491-3697

病児保育室担当： 秋元 進之介